

9月7日（日） 2025年度秋季リーグ戦第2節1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
奈良大	0	0	0	0	0	1	2	2	X	5

大阪公立大学(3塁側)

対

奈良学園大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	中	根来	3	府立生野		4	2	0
2	二	樋口	4	刈谷		4	0	0
3	指	菱田	2	関西大倉		3	0	0
4	捕	小田竜	4	県立伊丹		4	2	0
5	左	林	2	大阪明星		4	1	1
6	一	大西	4	長田		3	1	0
7	三	田中大	2	彦根東		3	0	0
8	遊	疋田	4	広島新庄		3	0	0
9	右	野田	2	須磨学園		3	1	0
投		吉岡	3	大阪明星		-	-	-
		山本	3	清教学園		-	-	-
		片山	3	府立池田		-	-	-
		小川	4	富岡西		-	-	-
		川田	3	奈良県立郡山		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	2	0	1	0	31	7	1

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	三遊	本間	4	奈良大学附属		4	2	0
2	二	河原	3	奈良大学附属		3	0	0
3	左	森	3	市立和歌山		5	2	0
4	一	松林	4	履正社		3	2	1
5	中	吉岡	4	星稜		3	0	0
6	指	西浦	2	大阪学院大学		2	0	0
	打指	門野	2	中京		1	0	0
	打指	石井	3	八戸学院光星		0	0	1
	打指	丸本	3	上宮		1	1	0
7	捕	守	4	下関国際		3	2	2
8	遊	西	2	東京成徳大学		2	0	0
	打三	北峯	3	奈良大学附属		2	1	2
9	右	米井	3	大阪商業大学堺		4	0	0
投		矢川	3	日本航空石川		-	-	-
		國方	1	大阪商業大学堺		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	8	3	0	0	33	10	5

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
吉岡	5	82	23	18	4	3	4	0	0
山本	1 1/3	34	8	7	3	0	1	3	1
片山	2/3	19	5	2	0	0	2	0	0
小川	2/3	29	7	5	3	1	1	2	0
川田	1/3	3	1	1	0	0	0	0	0
合計	8	167	44	33	10	4	8	5	1

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
矢川	5	73	19	17	5	2	2	1	1
國方	4	50	14	14	2	4	0	0	0
合計	9	123	33	31	7	6	2	1	1

【戦評】

早くも迎えた第2節。今季初勝利を掴み取るべく、気を引き締め直し、チーム一丸となり勝利にこだわり挑みました。

まずは初回、積極的な攻めの姿勢で試合の流れを掴みたい阪公大打線は、二死に追い込まれた後、菱田（農2・関西大倉）が四球を選び出塁します。すると、ここで本日4番起用の小田竜（工4・県立伊丹）は期待に応えるように二塁打を放ち、二死二三塁のチャンスを作ります。続く林（工2・大阪明星）はしっかりと適時打を放ち、幸先よく1点を先制します。

一方の守備。本日先発の吉岡（法3・大阪明星）は、先頭打者に安打を許しますが、落ち着いて相手打線を打ち取ります。そして、2・3回も続いて三者凡退と好投をみせます。

3回には、根来（経3・府立生野）が安打で出塁しますが盗塁を阻止され、4回には、小田竜が内野安打を放ちますがダブルプレーにより、無得点に終わります。

4回裏、味方の失策・安打・送りバントが続き、一死二三塁のピンチを招きます。その後三振を奪い取るも、四球を許し、二死満塁。ランナーを背負いながらも、持ち前のピッチングを崩すことなく、外野フライに打ち取り、無失点で切り抜けます。

5回表、先頭の大西（法4・長田）が死球により出塁し、送りバント・内野ゴロで進塁を試みますが、一塁ランナーの封殺が続きます。二死一塁の場面で、野田（現2・須磨学園）が安打を放ち、一二塁と得点圏へランナーを進めますが、後続が断たれます。

6回からは、山本（文3・清教学園）がマウンドに上がりますが、ソロホームランを放たれ、同点に追いつかれます。

7回には大西の二塁打、8回には根来の安打により、出塁はあるものの、あと1本が出ず得点にはつながりません。

7回裏、相手打線に二塁打・四球を許し、一死一二塁。ここで、山本に代わり片山（生3・府立池田）がマウンドを任されます。しかし、味方の失策や犠牲フライにより2点を追加され、この回を終えます。

8回からは小川（経4・富岡西）が登板し、またもや味方の失策により先頭打者に出塁を許すと、適時二塁打で1点。続いて連打を浴びさらに1点を失い、4点差へと追いつめられます。なおも続く二死満塁のピンチで、川田（理3・奈良県立郡山）がマウンドを任されると、しっかりと内野ゴロに打ち取り、攻撃へ移ります。

最後の望みがかかる9回表、なんとか同点に追いつき、逆転を決めたいところですが、三者凡退に抑えられ試合終了。1－5で敗戦いたしました。